

近畿  
北陸

# 地区だより

近畿・北陸地区連合会



第60号

平成28年1月発行

事務所 〒651-2225 兵庫県神戸市西区桜が丘東町2-2-11

謹賀新年  
新年のご挨拶



九州歯科大学同窓会  
近畿・北陸地区連合会  
会長 壺坂久次

新年あけましておめでとございます。日頃から会務運営にご理解、ご協力頂きまして誠にありがとうございます。さて、昨年四月には大学創立百周年の記念事業の一環としての若手臨床家数名による学術講演会が小倉で開かれ大好評でした。又、六月には片山同窓会会長が誕生しました。

昨年の連合会総会は兵庫県のお世話のもと、ポルトピアホテルで片山会長、田中専務にもご出席を頂きました。学術講演会は兵庫県会員の古土井神戸大学准教授と野口兵庫医大准教授のWキャストでご講演頂き、大好評でした。同じく兵庫県会員の清水先生とその仲間たちによる音楽会で締めくくり、アットホームな雰囲気の手作り感のある懇親会になりました。今年は大阪府の先生方にお世話になる予定です。沢山の先生方に参加して頂いて、心一つに円陣を組み校歌斉唱を高らかに歌おうではありませんか。

昨年一年を振り返りますとラグビーワールドカップでの日本の活躍に心踊らされた反面、一月には過激派組織による日本人ジャーナリスト惨殺、十一月にはパリでのテロと世の中を震撼させる様な出来事が起こっています。戦争も差別もないゆったりとした平和な世の中がずっと続いて欲しいと切に願っているばかりです。

最後になりましたが、私は同窓会本部の副会長と合わせてもう一期近畿北陸地区連合会会長を務めさせて頂く事になりました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

## 今年も恒例、2015サマー懇親会が開催される

8月22日(土)にサマー懇親会が開催されました。大阪ミナミのピアホールの片隅で開催予定だった大阪府同窓会主催の講習会の打ち上げがきっかけで、それが発展して産声を上げたサマー懇親会も今回で8回目。年々参加者が増えてきて、今回から九州歯科大学の西原学長もお招きし、さらになんとホテルグランヴィア大阪での開催と、立派な会に育ってきました。会場はやたら格式ばりしましたが、中身は例年通りフランクで楽しく！一次会は恒例の青木先生によるクイズで盛り上がり、そのあとは、これまたお決まりの二次会で、がんこ曾根崎本店で表彰式。午後の6時半から始まった会が、アツと言う間に時間が経って、気がつけば11時過ぎ。最後はエールと校歌斉唱で一応お開きとなりましたが、まだまだ物足りない連中は、さらに三次会四次会へ。今年も熱いサマー懇親会でした。

文責 加藤 聡 (大33期)





# 平成27年度 第60回 九州歯科大学同窓会 近畿・北陸地区連合会 総会 学術講演会 懇親会が開催される

## 総会

平成27年7月4日(土) 17:00~  
於：神戸ポートピアホテル B1F 和楽の間  
司会：専務理事 岩瀬 勝也



## 学術講演会

### 「歯科における抗菌薬の使い方」

講師：神戸大学医学部附属病院手術部 古土井 春吾 准教授（大40期、兵庫県）

### 「口腔癌治療の進歩-特に機能の温存と再建を目指して-」

講師：兵庫医科大学口腔外科学講座 野口 一馬 准教授（大40期、兵庫県）



九州歯科大学同窓会近畿・北陸地区連合会学術講演会が、平成27年7月4日(土)17時より神戸ポートピアホテルB1F和楽の間で開催された。今回は、本学の同窓生で開催地の兵庫県内で精力的に活動していらっしゃる、神戸大学医学部附属病院手術部 古土井春吾准教授(大40期、兵庫県)と、兵庫医科大学口腔外科学講座 野口一馬准教授(大40期、兵庫県)の2名を講師にお招きした。

当日は近畿・北陸地区連合会 西本達哉副会長(大阪府)による開会の辞、壺坂久次会長(兵庫県)による挨拶の後、第一演者として古土井先生が「歯科における抗菌薬の使い方」という演題で講演された。

まず歯科・口腔外科領域に適応のある経口抗菌薬について、構造や系統毎に薬効や薬剤名、副作用や禁忌などといった基礎的事項を解説された。その後、投与後の時間経過および抗菌薬の血中濃度と薬効の持続について、抗菌薬の血中濃度が、微生物の発育を阻止する抗菌薬の最小発育阻止濃度を少しでも上回る状態が継続するような投与を検討する必要があることを説かれた。また、腎排泄型ならびに肝排泄型の抗菌薬のうち歯科で頻用されるものについて紹介され、高齢者に対する抗菌薬投与時の注意事項、さらに抗菌薬と他の薬剤との併用時の注意事項について、研究成果も交えて述べられた。最後に疾患別に推奨される治療用抗菌薬および予防用抗菌薬について解説され、ご自身の臨床データ等も踏まえ、菌性感染症においてペニシリン系抗菌薬が見直されていること、予防抗菌薬の投与は手術開始1時間前以内、投与期間は2日以内とするべきであることを述べら

れた。

続いて第二演者として野口先生が登場され、「口腔癌治療の進歩-特に機能の温存と再建を目指して-」という演題で講演された。まず、現在世界的に口腔・咽頭癌の罹患率は増加しており、原因として、医療水準や食生活、喫煙習慣が挙げられるが、近年ヒトパピローマウイルス(HPV16、HPV18)が関与していることを紹介された。またHPV16、HPV18感染による発癌予防のため、若い男女へのHPVワクチン接種の必要性を唱えられた。その後ご自身の臨床について紹介され、機能温存の観点から、抗がん剤投与のみや、筋、脈管、神経の温存等できるだけ侵襲の少ない方法で治療に臨まれていることを述べられた。さらに臨床と基礎分野との融合の必要性についても語られ、癌浸潤のメカニズムなどを分子生化学的および病理学的視点から検討し、臨床にフィードバックされている例についても紹介された。

両演者は、それぞれご自身の「患者さん第一」の思いを込められた講演をされた後、それぞれ参加者からの質問を受けられ、ご講演の内容にさらに詳細な解説を加えて答えられた。

続いて壺坂久次会長が両演者に謝辞ならびに感謝状を贈られ、横木薫副会長(滋賀県)による閉会の辞をもって終了した。

今回は両演者が同窓生であり、かつ同年代の会員も多かったことから、ご講演スライドの合間に懐かしい写真やエピソードも挟まれ、演者と参加者が非常に近い、大変有意義な講演会となった。また非会員の先生方も聴講され、本会の充実した活動を本会外にアピールするにふさわしい学術講演会になったものと考えている。

文責 中塚 美智子(大50期)

## 懇親会





## 大阪府同窓会だより

大阪府同窓会家族会開かれる。去る27年10月快晴の日曜日能勢妙見口にハイキングに行って参りました。中のいい夫婦は二人連れで、そうでもない人は1人で来ていました。頂上からリフトで降りるのですが足元に花が咲き乱れていた。後ろの高濱君と前の岡本君が手を振っていた。おもわず写真を撮った。(SDカードにはいったまま現像してない。ごめん)みやげに柿を買って帰って嫁はんにみせたら渋柿だという。

「なんにもわからんおじさんだまして悪い店やな」「糸で吊るして

干し柿にしたら甘なるがな」「そんな邪魔臭いことしたかったら自分でし」  
来年は土産を買うことはないだろう。  
文責 青木 修一 (大29期)



## 京都府同窓会だより

平成27年10月25日(日)、恒例の同窓会秋のレクリエーションを行いました。今年で第13回を迎えるレクリエーションは、京都洛北に位置する「しょうざんリゾート京都」に行ってきました。この施設は、鷹ヶ峯三山を借景に見事にひろがる35000坪の土地で、北山杉の秘園や飲食施設、レジャー施設などがあります。私たちは、まず、施設内にある庭園を散策しました。広大で変化に富んだしょうざん庭園は、自然と人口とが見事に調和した洛北の秘園です。今回は、残念ながら、紅葉には少し早かったですが、素晴らしい庭園を楽しみました。

庭園散策後は、敷地内にある和と鳥旬菜「わかどり」にて、美味しい鳥料理を味わいました。それぞれの余暇の過ごし方や奥様と長期

旅行に行ったお話や、来年のレクリエーションはどこへ行こうかなど、様々な話題で盛り上がり、楽しい一日を過ごしました。

文責 杉 典子 (大45期)



## 奈良県同窓会だより

奈良県同窓会は3月26日総会を薬師寺前のイタリアレストラン「アムリット」で行いました。歯科のHPを多く手がけている東亜企画の益井さんに「インターネットのHP作成SEO対策の農にかかってはいけない」という演題でHP作成のポイントやSEOの具体策、「実は・・・」というような話などを教えていただきました。

奈良県同窓会のHPを作ることや来年度、総会を大阪府同窓会の講演会と合同で行う事を決めました。また、サマー懇親会の援助をすることを決めました。勤務医3名、開業医7名総勢10名でした。  
文責 高崎 真一 (大31期)



## 兵庫県同窓会だより

兵庫県同窓会では10月18日(日)に、恒例の「会員家族従業員親睦ハイキング」を開催しました。快晴の天気の下、今年は須磨浦公園駅に集合し、峻険な須磨アルプスを目指して登ってまいりました。と思ったら、1時間余りで早速ランチタイムとなり、ビールを待ちきれないオッサン連中は女性陣や子供たちの冷やかな視線を浴びながら、ここでリタイア組となりました。

11月8日(日)には恒例となった「県下国公立大学歯学部同窓会ゴルフ大会」が開催され、本会の畑弘倫会員(大38回)が優勝しました。これで“運”の、いや“実力”の九歯大から2年連続の個人戦優勝という結果になりました。

さて、兵庫県同窓会は今年役員改選を行い、不肖玉岡が2期目の会長を拝命することになりました。今期の課題としては、女性会員・若手会員の行事や会務への参画促進が挙げられます。いささか困難な課題ですが、近畿北陸地区会員の皆様力を拝借しながら進めてまいりたいと思います。

近畿北陸地区会員の皆様には、今後ともさらなるご厚情をお願い申し上げます。

文責 (大30期) 玉岡 哲朗



## 和歌山県同窓会だより

平成27年6月13日(土) 本会は、片山新会長、田中専務を招聘して、九歯大和歌山同窓会総会を 南紀白浜 風車(くえ料理専門店)で開催いたしました。最長老 橋爪久也先生 平成26年8月に逝去に、黙とう後、総会、各会員の近況報告を行い、片山会長の挨拶を賜りました。同窓会への新入会員を増やし強い同窓会を作ることが、一大目標、各支部でも、入会促進に努力していただきたいとの事。田中専務からは詳細を説明していただきました。

その後、懇親会で「くえ料理」に舌鼓をうち、会員相互の親睦を深めました。和歌山同窓会の前会長 木村先生(大21)が弓道部の後輩とのことで、片山会長とは、昔懐かしい学生時代の話にも花が咲い

ておりました。ちなみに、片山会長の頃の弓道部はとても強かったそうです。その後、2次会でお開きとなりました。会場、2次会等の設定で森本先生(大38)には大変ご苦労かけました。有難うございました。最後に玉置会長より、「今回の総会は、出席率がいいだったので、来年はもう少し多くの会員が出席できる様日程を調整したい。」との事でした。

文責 山西 章仁 (大42期)





## 北陸同窓会だより

平成27年2月28日(土) 富山県庄川温泉郷「庄川温泉風流味道座敷ゆめつくり」にて、九州歯科大学北陸支部同窓会・学術講演会が執り行われました。講演会は、新潟大学大学院医歯学総合研究科予防歯科学分野教授 宮崎秀夫先生(大26期)をお迎えし、「超高齢社会を迎え、歯科医療を取り巻く諸課題」と題してご講演して頂きました。

講演会後は宴会が現福井県歯科医師会会長 斎藤愛夫先生(27期)の乾杯の御発声にて執り行われました。斎藤先生からは、「同窓会のありがたさを感じつつ、九歯大に拾ってもらった恩を忘れてはならない!福岡県に足を向けて寝てはならない!福岡に行ったらむちゃ

くちやお金を使い!」とのことでした。

北陸同窓会新会長 嶋田潔先生(大34期)からは、「一人でも多くの同窓生を集める。それが母校に対する恩返しだと思っています。」との力強いお言葉を頂きました。主催県、富山県を代表して富山県小矢部市歯科医師会会長 荒井克洋先生(大36期)からは「俺は九州歯科大出身や!と言えることが大事で、誇りをもって胸を張って言い続けたい。」と熱い気持ちのご挨拶を頂きました。

北陸の地でも熱き九歯大魂は健在です。

文責 川原 賢功(大45期)

## 滋賀県同窓会だより

11月14日、平成27年度九州歯科大学滋賀県同窓会が京都センチュリーホテルで行われた。森島繁先生(大41期)の司会進行で、まず県同窓会長の横木薫先生(大23期)より冒頭のあいさつがあり、続いて本部同窓会の本年度の活動並びにこれからの予定などを報告された。

今年は、特に西本利夫先生(大8期)が叙勲(旭日双光章)を受賞されたことは、私たちに誇りあることです。続いて会計報告等があり、今年の総会は無事終了させて頂くことができました。

引き続き学術講演会が行われ、本学生体機能学講座老年障害者歯科学分野准教授の藤井航先生に「摂食嚥下の基礎知識」と題し、御講演頂いた。先生は、湖北歯科医師会 藤井洸先生の御子息で、当県にも関わりの強い先生です。

最後においしいホテルの料理を頂き、美酒に酔いしれ終了しました。なかなか県内に皆住んでいますが、こうして一同に会することはないので、楽しいひとときでした。御講演頂いた藤井航先生も、久し

ぶりの京都での一時に、和んで頂いたのではないのでしょうか。

文責 野村 信人(院18期)



同窓会メールネットワークシステム

**九歯マガジン!** ~繋がる歯科医・広がる視界~

★掲載の申し込みは...

[kdu-jimu@kyushi-doso.jp](mailto:kdu-jimu@kyushi-doso.jp)

(九州歯科大学同窓会事務局)

九州歯科大学同窓会は、2015年4月よりメルマガを利用した情報案内システムの本格運用を開始いたしました。皆様の御協力のおかげで11月24日時点での登録件数は2000件です。既に多くの学生、卒業生が登録済みですが、登録がまだにお済みでない方は、是非ともご登録願います。

一般的なイメージのメルマガと言うよりは、用途によって配信先を絞り込んで情報を流す大規模な連絡網という感じです。従って、たくさんの方々の登録者がなければ機能を果たせません。そろそろ使ってみたい方もおられると思いますので以下、九歯マガジンの要項をあげてみます。

文責 千田 大誠(大48期)

●目的

(例) 求人・求職・ハッピーリタイア・クラス会案内・部活案内・イベント報告・趣味楽しいイベント・逝去通知等

●配信対象者

(例) 登録者全員・学生のみ・既卒者で卒後10年ぐらいいまで・女性のみ・学生時代の所属クラブが水泳部・同等の趣味をお持ちの同窓会...等  
登録内容に関連した情報のみを選択配信いたします。

●配信地域

(例) 全国・関東圏内・福岡県内...等

●内容

※その他希望等有りましたら記載ください  
文面の他に写真等も歓迎します

【編集後記】 ●新年明けましておめでとうございます。本年も同窓生の皆さまのご多幸、ご活躍をお祈りいたします。本年も同窓会での交流よろしくお祈りいたします。(滋賀 中川 賢一)

●平成27年で開業20年になりました。日々診療に追われあっという間です。体をいたわってあと20年、患者さんと一緒に頑張りたいと思います。(大阪 岡田 克也)

●このたびも多くの先生方からの原稿を頂き無事第60号発行に至りました。誠に有り難く存じます。これからもよろしくお祈りいたします。(兵庫 新田 典夫)

●私が編集を担当するようになってから年始の発行になりました。今年の総括や新年の挨拶など、皆さんに原稿を依頼するのは11月はじめですが その頃はまだまだそんな気分にならなくて、なんだかなあって思ってるうちにアツという間に年末になってしまいました(汗)。今でこそメールで原稿をやり取りできますが、郵送でやってた頃は大変だったろうなと思います。今号もフルカラーで写真多く、各地域・イベントの雰囲気を感じていただけたら幸いです。(兵庫 清水 拓)

